

2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（袖ヶ浦東小学校区）

1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月			備考
地区全体	6,406 人	⇒	6,285 人	★121 人の減少		
0 歳～ 9 歳	772 人	12.1%	590 人	9.4%	364 人	●全体としての人口は減少 ●65 歳以上の人口数対生産年齢人口数比 ★1 人対 1.8 人
10 歳～14 歳					226 人	
15 歳～19 歳					299 人	
20 歳～29 歳					620 人	
30 歳～59 歳	3,613 人	56.4%	3,673 人	58.4%	2,412 人	
60 歳～64 歳					342 人	
65 歳～69 歳					272 人	
70 歳～79 歳	2,023 人	31.6%	2,021 人	32.2%	781 人	
80 歳以上					968 人	

2) 丁目ごとの標高

◆袖ヶ浦

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
2 丁目	4.2m	5 番袖ヶ浦西近隣公園	2.4m	3 番 1 号付近の道路	1.8m
3 丁目	3.1m	5 番 3 号集会室	2.4m	4 番 5 号付近の道路	0.7m
4 丁目	3.2m	3 番 1 号第 3 中学校	2.1m	8 番 11 号付近の道路	1.1m
5 丁目	3.3m	1 番袖ヶ浦体育館	1.9m	22 番ガード下	1.4m
6 丁目	3.4m	2 番 1 号集会所袖 6 会館	2.3m	16 番 12 号付近の道路	1.1m

◆津田沼

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
6 丁目	6.8m	13 番 21 号付近の道路	2.3m	2 番 29 号国道 14 号上	4.5m

◆鷺沼

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	18.3m	2 番 18 号付近の道路	2.1m	14 番 15 号付近の道路	16.2m
3 丁目	17.3m	1 番 1 号鷺沼小学校	2.1m	19 番 21 号付近の道路	15.2m
5 丁目	16.1m	11 番畑	2.7m	6 番 16 号付近の道路	13.4m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁 目	揺れ		液状化	河川氾濫	内水氾濫	高潮	土砂災害
	全壊	半壊	全半壊	氾濫水	氾濫水	浸水	
袖ヶ浦 2 丁目	2 棟	5 棟	0 棟	41 棟	17 棟	41 棟	なし
袖ヶ浦 3 丁目	4 棟	8 棟	0 棟	52 棟	41 棟	52 棟	なし
袖ヶ浦 4 丁目	38 棟	68 棟	1 棟	375 棟	287 棟	375 棟	なし
袖ヶ浦 5 丁目	38 棟	73 棟	1 棟	414 棟	169 棟	419 棟	なし
袖ヶ浦 6 丁目	59 棟	109 棟	1 棟	660 棟	397 棟	661 棟	なし
津田沼 6 丁目	61 棟	103 棟	0 棟	136 棟	228 棟	363 棟	なし
鷺沼 1 丁目	38 棟	87 棟	0 棟	82 棟	153 棟	191 棟	5 棟
鷺沼 3 丁目	36 棟	101 棟	0 棟	132 棟	176 棟	238 棟	23 棟
鷺沼 5 丁目	9 棟	23 棟	0 棟	15 棟	26 棟	25 棟	なし

4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	液状化	◆避難場所である袖ヶ浦東小学校でも液状化が発生し、満足に使用できない可能性がある。
2	内水はん濫	◆大雨時などには、大ガードのトンネルや京葉道路沿いの袖ヶ浦 5 丁目が浸水する。
3	津 波	◆津波が発生した場合には、菊田川を逆流することが予想され、その影響によって道路冠水が発生するおそれがある。
4	避難経路	◆袖ヶ浦 6 丁目は避難の際に京葉道路のガード下を潜る必要があり、避難経路が脆弱で地区から分断される可能性がある。 ◆津波が発生した際に避難するための高台や、隣接する千葉市内の避難所・避難場所を把握していない。

5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	複合災害	◆地震と風水害を分けて考えるのではなく、複合的に発生することも考慮して対策を検討する必要がある。
2	広域的な避難	◆袖ヶ浦東小学校区は千葉市と隣接しているため、災害時の避難施設の利用などにあたって、千葉市との連携強化を図る。
3	避難所・避難場所	◆京葉道路で袖ヶ浦 5 丁目と 6 丁目の間が分断され、避難が困難になった際に避難できる場所を確保する。 ◆孤立する可能性がある袖ヶ浦 6 丁目においては、避難先を交通状況により臨機応変に対応する必要がある。 (地区内の避難所、香澄小学校など)
4	救急・救護	◆AEDがいざという時に使用できるように、AEDの設置場所を防災マップ等で周知・啓発するとともに、使用方法について講習会をしていく必要がある。